

マイナンバーカードの申請件数、率、県下の順位を

市民生活部長 4月30日
時点、32,425件、74.6%、県下21中20位。



高木和恵 議員

議員 市長自ら「一人を育てる」に、保育料の無償化の推進とある。0歳と2歳の1子目だけが未だに有料（住民税非課税世帯はタダ）。完全無償化はいつか。

市長 1子目の保育料の無償化は考えていない。

議員 「真砂」の社長は副市長の充て職か。

市長 取締役4人（市長、副市長、民間2人）の内選考で副市長を社長に。

議員 山口副市長の任期は12月で終了（議会は不同意）。市長は2月の時点では山口氏が真砂の社

長と答弁。副市長に何う、真砂の社長は副市長の充て職と思っているか。

副市長 充て職とはなっていないと思っている。

議員 カムスの駐車場（行政財産）に、島原手延べそらめん島原グループの看板がある。カムスの駐車場の看板を立てる考えは。

副市長 基本的にはカムスの駐車場と位置付けている。看板を立てるのはやぶさかではない。

議員 農協の選果場の土地は、農協と旧3町（布津、有家、西有家）との契約書

市と農協間の契約書はあるか。

農林水産部長 市との契約書はない。



マルナン選果場
(ありえコレジヨホール前)

議員 旧布津給食センターの当初の地主と合意解約書を交わしたと聞く。

内容の説明を。

総務部長 6月17日市が借りていた土地が売買されたことが理由、前日の6月16日に契約を解除。土地は返還し、建物は市の財産のため、新地権者と土地の賃貸契約を結んだ。

議員 建物は、なぜ譲渡しなかったのか。

総務部長 市の財産処分は議会の議決が必要であるので処分には至らなかった。（※契約書には更地にして戻す）

議員 南島原市自転車道線の用地について、民有地が現在4件あると聞くが本当か。

建設部長 個人名義は29筆。難色を示されている土地が5筆ある。

議員 紙の保険証は、保険料を納めた人に交付されている。マイナ保険証を申請していない人にはこれまでどおり役所から届くのか。

福祉保健部長 国からはまだはつきりとした指示がない。



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

橋の位置づけについてはどのように考えておられるか。

市長 平成3年に、ふるさと創生事業によって、旧口之津町で観光の目玉として、旧口之津税関に渡る橋として設置をされたと聞く。現在も、地域のシンボルとして愛されて、地元の方にとっても身近で思い入れのある橋であるとう認識をしている。

議員 市長もそういう思いでいるならば、そういう思いが表れるような維持管理をしていただきたい。

農業振興について

議員 農業後継者に対する各種の支援があると思うが、農業後継者がいるところの話と聞くとハードルが高くて、南島原市の農業後継者には当てはまりにくい支援も多いと聞く。そこで、現状と課題の取組についてお尋ねしたい。

農林水産部長 本市の農業においては、少子高齢化



なんばん大橋(口之津町)

その他の質問

・自治会長会議については（会議内容については市のホームページに掲載する）

・南島原市原城跡世界遺産センター事業について

消防ポンプ車運転免許取得助成について

市長 団員皆さんが運転できるよう対策を考えたい。



松本 添花 議員

オーガニック給食について

議員 南島原オーガニック農業推進計画の策定は、

農林水産部長 大きく分けて三つ。一つ目は生産部分。生産基盤の強化、人材育成、地域循環型農業の推進、有機JASの認証取得の拡大。二つ目は

販路の拡大。消費者への理解促進、加工品の開発検討。三つ目は食育部分。給食への利用など。

議員 今後の学校給食への野菜の提供については、
農林水産部長 オーガニック野菜の生産状況、学校

給食会、生産者のみなさんと協議をしていく。

議員 子ども図書館、博物館、ミニシアター、科学館などを含めた児童館の設立はどうか。

福祉保健部長 本市にはそのような計画はない。しかし、将来的に必要なのかという課題ではある。

消防団について

議員 団員のなり手不足、欠員の困りもある。本市も統合を考える時期ではないのか。

総務部長 地域的に統合が難しい箇所もある。しかし、本市にも統合している分団もあるので、事例を参考にしながらどういった形が一番いいのか

消防団員と協議し、進めていきたいと考えている。

議員 消防ポンプ車運転免許取得助成は。

総務部長 県内では21市町のうち6自治体が助成制度を実施されている。本市でもこういった形の

助成方法がいいか検討を進める。

議員 今後、新たに取り組んでいく内容があるのか。

市長 10月に小・中学生の医療費の現物給付化。令和6年4月に現在の子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一本化し、全ての妊産婦の方、子育て世帯、子どもへの相談支援を一体的に切れ目なく行うことも家庭センターを設置するようになっている。ことも未来戦略方針の具体化の近況を注視しながら、本市でも子ども、子育て施策をさらに充実強化していきたいと考えている。



解体される旧口之津第一小学校



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

の2つがメインの観光目玉となっているので、もう少し大事にしてみたいと思っている。今後の方針を伺う。

建設部長 橋梁の点検は5カ年点検を実施している。来年度がなんばん大橋の年だったが、令和元年度の点検状況から、数年後には防護柵が非常に傷みが出て損壊も出た区間があり、今年度の業務委託の状況をみて点検を進めていく。この橋梁の補修は、国県が安全性を図るため早急な形で整備をするよう指導があり、市も地域の方の安全を図り、取り組んでいく。

議員 危険な場所や危ない市道が蓄積しているが、予算がなく補修ができないでいる。予算確保はできないか伺う。

市長 市道の維持管理については、例年応急的な修繕・工事に必要な予算を措置するとともに、国の補助金を活用して、

建設課の予算について



腐食したなんばん大橋

長寿命化に取り組んでいる。予算については厳しい財政状況の中、限られた財源を有効に活用するため、それぞれの箇所の緊急性、また必要性などを総合的に勘定した上で、配分をし、順次修繕工事を実施している状況。

議員 私の見るところは自然災害じゃないかという所がもう7年もそのまま放置してある。至急してもらわないと市民も安全に通行できない。

建設部長 遅くなり申し訳ない。現状を再度確認していい方向に予算確保を続けていきたい。

加津佐地区の医療体制について

市長 県に要望をする。



林田久富 議員

加津佐地区の医療体制について

議員 その後の経過はどうなっているのか。

市長 県や地元医師会に相談をしながら、県内の医療計画の策定を進めている長崎県に対して、医師の確保と地域における医療機関偏在の是正に関する本市独自の要望書の提出を行う。

議員 口之津町にあるなんばん大橋の維持管理について（欄干については修繕中）

市長 なんばん大